

上島町消防だより

☆町内事業所対象

普通救命講習会開催☆

6月23日、弓削中央公民館において、町内事業所の方々を対象に心肺蘇生法やAEDの取扱い等を目的とした普通救命講習を実施しました。



真剣に取り組む 受講者のみなさん

当日は、8事業所、約50名の方が参加され、皆さん真剣に実技に取り組みました。
上島町消防署では、AEDの使用方法も含めた普通救命講習（3時間）を5名程度から受け付けています。一人でも多くの皆さんに、受講し

て頂くことにより、上島町の救命率が向上しますので、お気軽にお申し込みください。

三角巾を使用した固定法



要領を確認しながら心肺蘇生法を実施する受講者



各班に分かれての受講の様子



暑さもピーク！夏本番

熱中症にご用心

熱中症とは、暑い環境で発生する障害の総称で、梅雨の合間に気温が上昇した日や、梅雨明けの蒸し暑い日など、体が熱さに慣れてない時期におこりやすくなります。暑さの厳しい8月も注意が必要です。

熱中症の症状

熱中症には、熱けいれん・熱疲労・熱射病があり、脱水により、脱力感、めまいや手足の筋肉の痛みといった症状がおこります。

熱射病の症状

が進行すると、最悪の場合、死に至ることもあります。



熱中症予防8か条

- ① 知って防ごう熱中症
- ② 暑いとき、無理な運動は事故のもと
- ③ 急な暑さは要注意
- ④ 失った水と塩分を取り戻そう
- ⑤ 体重で知ろう健康と汗の量
- ⑥ 薄着ルックでさわやかに
- ⑦ 体調不良は事故のもと
- ⑧ あわてるな、されど急ごう応急救置

応急救置の方法

移動

日陰で風通しの良い場所へ運び、衣服をゆるめて寝かせる。

水分補給

意識がしっかりしていれば、水やスポーツ飲料を飲ませる。

冷やす

体温が高いときには、濡れタオルや水で全身の皮膚をぬらし、あおいで体温を下げる。
(首・脇の下を冷やすのが効果的)

マッサージ

血液の循環が悪い場合は、手足をマッサージする。

※熱射病の場合は、一刻も早く医療機関で処置する必要があります。すぐに応急救置を行い、消防署へ通報してください。

平成19年の出動件数

	火災	救急
今年(6月)	0	29
昨年(6月)	0	31
昨 年 比	0	-2
19 年 累 計	1	225

平成19年6月30日現在

火災と救急は119番

消防本部・署 77-4118(代)



農業講座

しまなみ農業だより 秋冬野菜の栽培準備

まだまだ暑い日が続きますが、8月は9月植えの秋冬野菜の準備を始める時期となります。キャベツ類は冷涼な気候を好み、暖地では主に秋と春に栽培できます。年内に収穫するためには8月から種まきを行い、葉が4～5枚まで育苗してから畑に植え付けます。また、夏野菜が終わって畑に少し空きができたなら、この時期に人参の種を播いておくとも年内から冬にかけて収穫できます。今回は、キャベツやブロッコリーなど秋冬野菜類の準備について解説します。

(1)栽培作型

品種選択は栽培時期に合わせて、早く播く時は早生種で耐暑性のあるもの、遅く播く時は中生種か晩生種の耐寒性のある品種を使いわけ

表 8月に準備を始める主要野菜の作型

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャベツ								○—△			■ ■ ■ ■	
ブロッコリー カリフラワー								○—△		○—△		■ ■ ■ ■
人 参	■ ■							○—○				■ ■ ■ ■
芽キャベツ	■ ■							○—△				■ ■ ■ ■

○種まき △植え付 ■収 穫

(2)育苗（種まき）

キャベツやブロッコリーは一度、トロ箱や畑で本葉が2枚頃に10～15cmの間隔に植え替えるかビニールポットなどに植えかえます。苗の葉数が本葉4枚～5枚頃まで育ててから畑へ植えつけます。最近ではセルトレイや小型の鉢に種をまいて植え替えせずに育苗する方法もあります。トロ箱への種まきや鉢などで育苗する時は、市販の育苗用の土を使用するか、完熟堆肥や腐葉土と土を半量混ぜたものに苦土石灰を混ぜた排水の良い土を使用する。

暑い時期なので苗の植え替え後は、黒い寒冷紗等で数日間、日除けとかん水をしっかり行い苗がしおれなくなれば徐々に日光に慣らしていく。

人参は、種まき前に苦土石灰（1kg/10m²）と肥料（800g/10m²）を土とよく混ぜておき幅1mの畝に30cm間隔に2条のまき溝を作り、溝に種を薄くばら播く。種の上から5mm程度の土をかけて発芽するまでは畝を絶対に乾かさないように管理する。

(3)定植および定植後の管理

キャベツ、ブロッコリーは植え付け予定の1週間前までに苦土石灰を10m²当たり1kg、数日前に化成肥料1.5kgを散布し耕しておく。植え付け間隔はうね幅50～70cm、株間30～40cmの1条に植えつける。植え付け時の注意としては深植えにしないこと。植え付け15日後に1回目の追肥を土寄せと併せて行い、キャベツでは結球のはじめ、ブロッコリー、カリフラワーは花蕾が見え始めた頃に2回目の追肥を元肥の1/3量の化成肥料を株間に施用します。また、人参は本葉2～3枚目と5～6枚目の時期に間引きを行い、採集の株間を12cmにします。それぞれの間引きの後に、少量の肥料を株元に施用後、土寄せを必ず行う。間引きをしっかりと行うことと、人参は成長が遅く、雑草に負けやすいので早めに除草を行うことが重要です。

(4)病虫害防除

キャベツ、ブロッコリーは育苗や定植後から葉を食べるアオムシ、コナガ、ヨトウムシや芯芽を食べるハイマダラノメイガなど蛾や蝶の幼虫による被害が発生します。育苗時には防虫ネットで覆うか被害が見え始めたらコテツフロアブルやモスピラン水溶剤、オルトラン水和剤などで早めに防除します。植え付け時に植え穴にオルトラン粒剤やモスピラン粒剤を1～2gを入れて植えると初期の害虫の被害を軽減できます。

人参ではクロアゲハの幼虫やヨトウムシの幼虫に葉や茎を食べられます。見つけ次第、捕殺してください。